

中医協 総-1-5
19.5.16

平成 18 年度診療報酬改定結果検証に係る調査
後発医薬品の使用状況調査
報 告 書

目 次

1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査項目	2
5. 結果	3
(1) 回収の状況	3
(2) 薬局の属性（平成 18 年 10 月）	4
(3) 取り扱い処方せん の状況（平成 18 年 10 月）	8
(4) 後発医薬品への対応の状況（平成 18 年 10 月）	21
(5) 医薬品の備蓄状況（平成 17 年 10 月および平成 18 年 10 月）	36
(6) 後発医薬品へ変更した場合の、保険医療機関への情報提供	42
(7) 後発医薬品の使用状況（平成 18 年 10 月 23 日～29 日の状況）	47
6. まとめ	50
7. 調査票	51

1. 調査の目的

保険薬局における「後発医薬品への変更可」に処方医の署名等がある処方せんの受付状況等の把握、および保険薬局において実際に後発医薬品に変更して調剤した医薬品の状況等の把握を目的とした。

2. 調査対象

全国の保険薬局から無作為抽出（都道府県別に層化）した1,000施設であり、「保険医療機関等における医療費の内容が分かる明細書の発行状況調査」の調査対象と同一である。

3. 調査方法

自記式調査票の郵送配布・郵送回収とし、本調査の調査票と「保険医療機関等における医療費の内容が分かる明細書の発行状況調査」の調査票を同封して配布した。調査は平成18年11月に実施した。

本調査では、施設属性、処方せん枚数等を尋ねる様式1と、実際に調剤した薬剤料を尋ねる様式2を配布した。様式2においては、後発医薬品への変更状況について、薬局の負担を軽減し回収率を上げるため、10/23～10/29の1週間の状況に限定して調査した。

4. 調査項目

施設属性および後発医薬品の使用状況について調査した。

図表 1 調査項目

区分	内容
様式1(施設調査票)	<ul style="list-style-type: none">所在地、組織形態、職員数、調剤基本料の種類、基準調剤加算の有無主な処方せん発行医療機関および当該医療機関に係る処方せん割合1ヶ月の取り扱い処方せん枚数および「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せん枚数、実際に後発医薬品に変更した処方せん枚数、後発医薬品情報提供料を算定した処方せん枚数後発医薬品への対応状況（「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がなかった場合の対応、後発医薬品への変更に関する患者さんに対する平均説明時間等）後発医薬品へ変更した場合の銘柄等情報の医療機関への情報提供の方法、頻度、医療機関から受けた要望等後発医薬品の備蓄状況後発医薬品の使用促進策に関する問題点、課題等
様式2(後発医薬品調剤情報票)	<ul style="list-style-type: none">処方せんへの記載銘柄に基づき調剤した場合の薬剤料および実際に調剤した（後発医薬品を含む）薬剤料

5. 結果

(1) 回収の状況

様式1（施設調査票）の有効回収数は635であり、回収率は63.5%であった。このうち、10/23～29の期間内に後発医薬品へ変更した保険薬局（様式2（後発医薬品調剤情報票）を記入した薬局）は177施設であった。

また、様式2（後発医薬品調剤情報票）に記載されていた処方せんの数（10/23～29に、「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等があり、実際に後発医薬品に変更した処方せん枚数）は、1,032であった。

図表 2 回収の状況

調査票	有効回収数	回収率
保険薬局数（様式1）	635	63.5%
様式2に記載された処方せん枚数（177薬局分）	1,032	—

※ 白票、記載銘柄により調剤した場合の処方せんの薬剤料が後発医薬品を調剤した場合の薬剤料以上の点数である処方せん枚数、様式1と突合不能な票を除いたものを有効回収数とした。

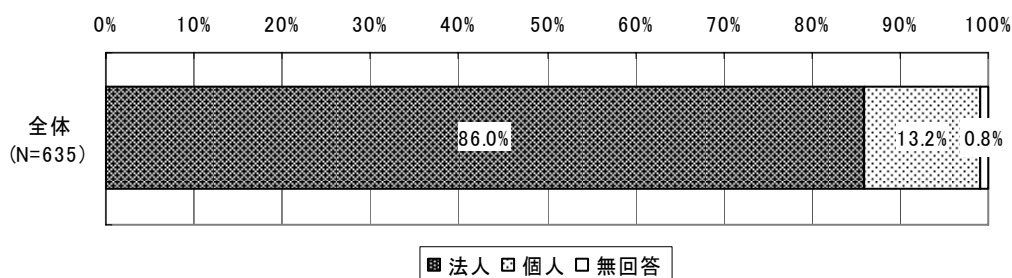
(2) 薬局の属性 (平成 18 年 10 月)

1) 組織形態

(ア) 組織形態

組織形態についてみると、「法人」(86.0%) が最も多く、次いで「個人」(13.2%) となっている。

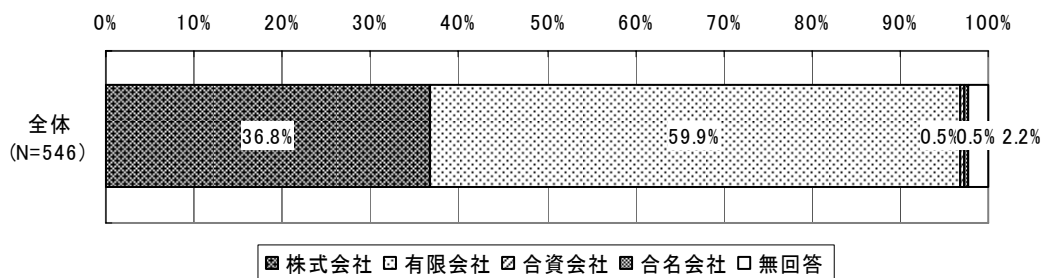
図表 3 組織形態



(イ) 法人の種類

組織形態が「法人」の 546 施設において、法人の種類についてみると、薬局全体では「有限会社」(59.9%) が最も多く、次いで「株式会社」(36.8%) となっている。

図表 4 組織形態 (法人の種類)

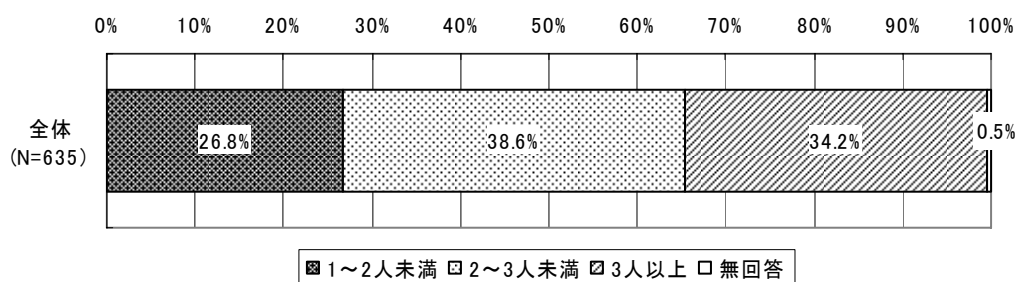


2) 職員数（常勤換算）

(ア) 薬剤師

薬剤師の職員数（常勤換算）についてみると、「2～3 人未満」（38.6%）が最も多く、次いで「3 人以上」（34.2%）となっている。

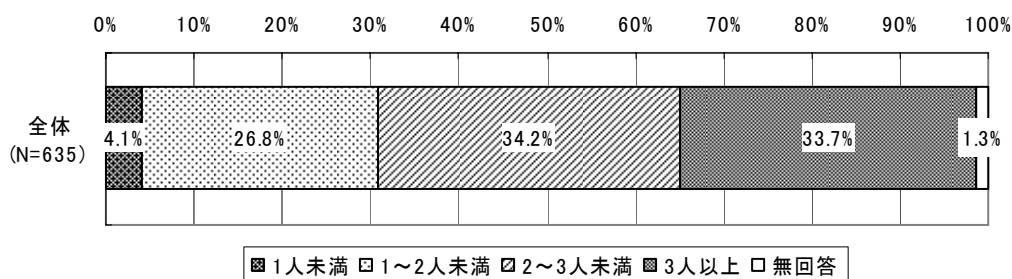
図表 5 薬剤師の職員数（常勤換算）



(イ) その他（事務職員等）

その他（事務職員等）の職員数（常勤換算）についてみると、「2～3 人未満」（34.2%）が最も多く、次いで「3 人以上」（33.7%）となっている。

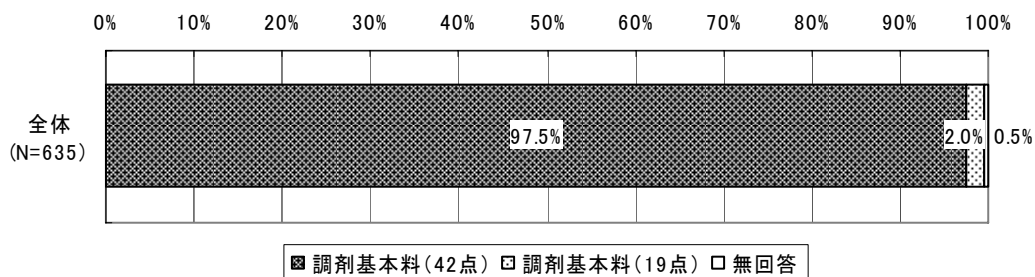
図表 6 その他（事務職員等）の職員数（常勤換算）



3) 調剤基本料

調剤基本料についてみると、「調剤基本料（42点）」（97.5%）が殆どを占めている。

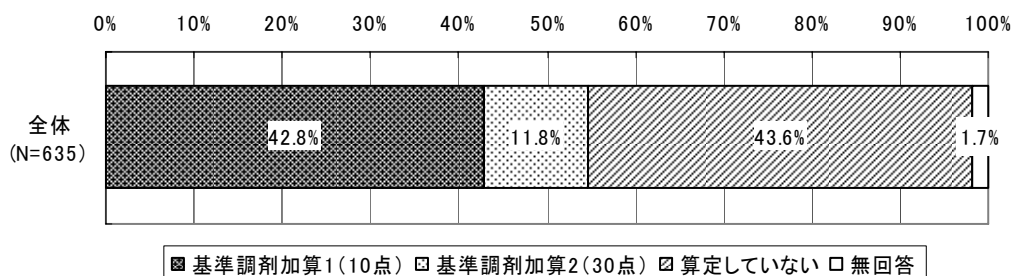
図表 7 調剤基本料



4) 基準調剤加算

基準調剤加算についてみると、「算定していない」（43.6%）が最も多く、次いで「基準調剤加算 1（10点）」（42.8%）となっている。

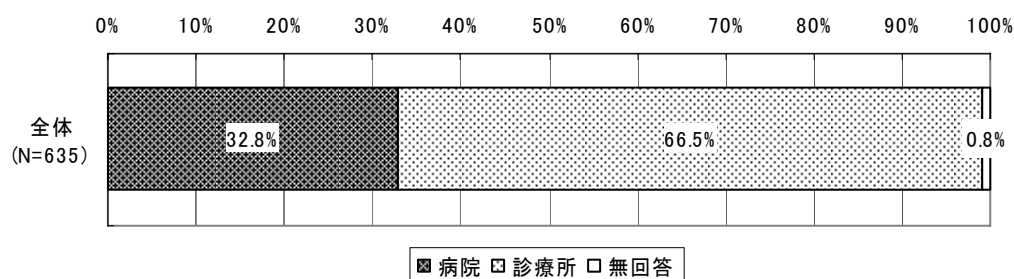
図表 8 基準調剤加算



5) 主な処方せん発行医療機関

主な処方せん発行医療機関についてみると、「診療所」が66.5%、「病院」が32.8%となっている。

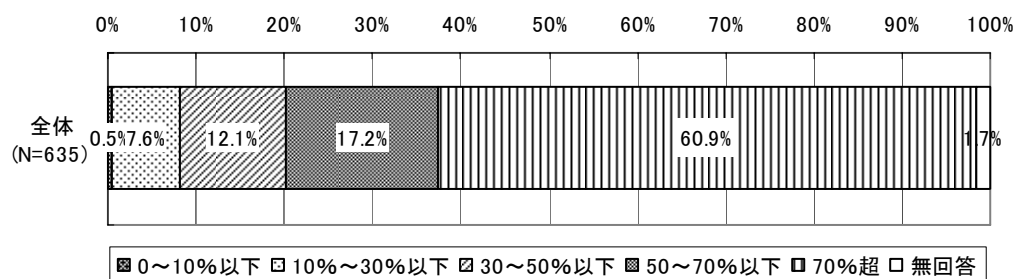
図表 9 主な処方せん発行医療機関



6) 特定の保険医療機関に係る処方せん割合（最も多いもの）

特定の保険医療機関に係る処方せん割合についてみると、「70%超」（60.9%）が最も多く、次いで「50～70%以下」（17.2%）となっている。

図表 10 特定の保険医療機関に係る処方せん割合（最も多いもの）



(3) 取り扱い処方せんの状況（平成 18 年 10 月）

1) 取り扱い処方せん枚数

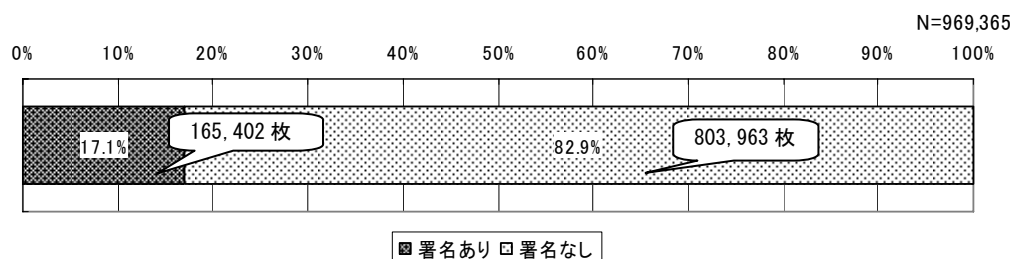
1ヶ月全体の全ての取り扱い処方せん枚数についてみると、全保険薬局における合計枚数は969,365枚であり、平均1,543.57枚となっている。このうち、「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せん枚数は全体で165,402枚（全処方せん枚数の17.1%）であり、平均は268.95枚であった。また、このうち、「後発医薬品へ変更可」欄に処方医の署名等はあるが、処方せんに記載されたすべての銘柄について後発医薬品が薬価収載されていないために、後発医薬品に変更することができない処方せん枚数は、合計14,278枚（平均25.09枚）であり、実際に後発医薬品に変更した処方せん枚数（1品目でも変更した場合を含む）は、合計9,452枚（平均15.60枚）であった。全処方せん枚数に占める、実際に後発医薬品に変更した処方せんの割合は、0.98%（=9,452/969,365）であった。

図表 11 取り扱い処方せん枚数

	全体 (N=635)	
	全枚数	1 薬局あたりの平均枚数
①全ての取り扱い処方せん枚数	969,365	1,543.57
②うち、「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せん枚数	165,402	268.95
③うち、実際に後発医薬品に変更した処方せん枚数（1品目でも変更した場合も含む）	9,452	15.60
④うち、後発医薬品情報提供料を算定した処方せん枚数	5,320	8.88
⑤「後発医薬品へ変更可」欄に処方医の署名等はあるが、処方せんに記載されたすべての銘柄について後発医薬品が薬価収載されていないために、後発医薬品に変更することができない処方せん枚数	14,278	25.09

※ 平均枚数については、枚数の欄に回答があった施設のみの平均値である。

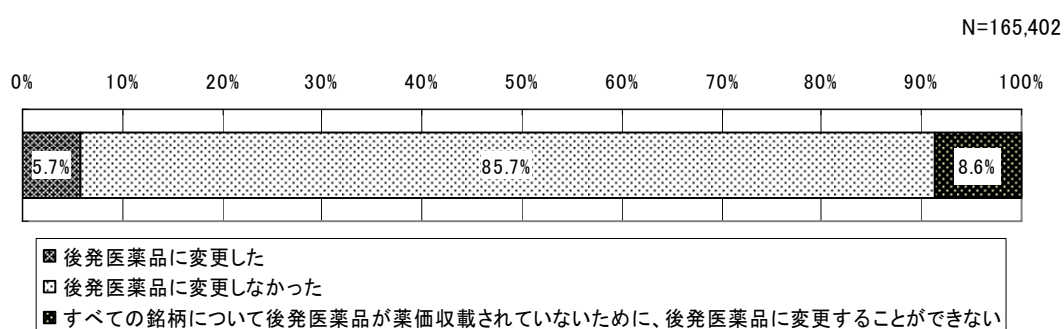
図表 12 全ての処方せんにおける、「後発医薬品への変更可」欄への処方医の署名の有無



2) 後発医薬品への変更割合（処方せん枚数ベース）

1 ヶ月全体の取り扱い処方せん枚数（969,365枚）のうち、「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せん（165,402枚）について、それらの後発医薬品への変更状況を調査したところ、「後発医薬品に変更した」のは5.7%（=9,452/165,402）であった。また、「すべての銘柄について後発医薬品が薬価収載されていないために、後発医薬品に変更することができない」が8.6%（=14,278/165,402）であった。

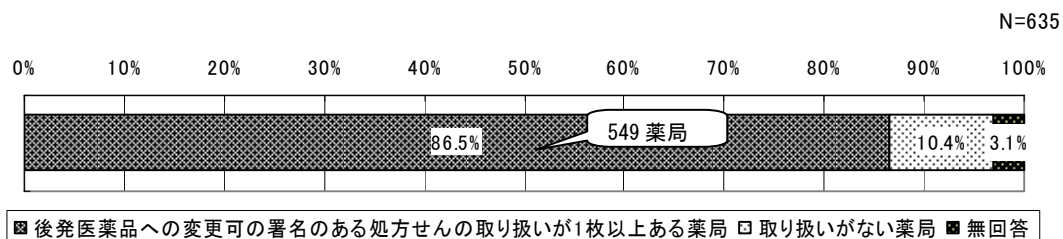
図表 13 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せん（N=165,402）における、後発医薬品への変更状況



3) 後発医薬品への変更割合（薬局数ベース）

平成18年10月1ヶ月間全体で、「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんの取り扱いが1枚以上あった薬局は86.5%（549薬局）であった。

図表 14 1ヶ月間の取り扱い処方せんのうち、後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局数の割合



図表 15 後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がある処方せん取り扱い経験（主な処方せん発行医療機関別）

	合計	1枚以上あり	なし	無回答
合計	635	549 86.5%	66 10.4%	20 3.1%
病院	208	184 88.5%	18 8.7%	6 2.9%
診療所	422	361 85.5%	48 11.4%	13 3.1%
無回答	5	4 80.0%	-	1 20.0%

図表 16 後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がある処方せん取り扱い経験（薬剤師数別）

	合計	1枚以上あり	なし	無回答
合計	635	549 86.5%	66 10.4%	20 3.1%
1～2人未満	170	135 79.4%	29 17.1%	6 3.5%
2～3人未満	245	218 89.0%	23 9.4%	4 1.6%
3人以上	217	193 88.9%	14 6.5%	10 4.6%
無回答	3	3 100.0%	-	-

さらに、取り扱い処方せん枚数別にみると目立った傾向はみられていないが、薬剤師 1 人当たり取り扱い処方せん枚数が増えるほど、後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がある処方せんの取り扱い経験は少ない。

また、平成 18 年 10 月における後発医薬品の備蓄品目数別にみると、備蓄品目が多いほど、後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がある処方せんの取り扱い経験が多い傾向が見られた。

図表 17 後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がある処方せん取り扱い経験
(取り扱い処方せん枚数別)

	合計	1枚以上あり	なし	無回答
合計	635	549 86.5%	66 10.4%	20 3.1%
500枚未満	66	59 89.4%	5 7.6%	2 3.0%
500～1000枚未満	161	140 87.0%	18 11.2%	3 1.9%
1000～1500枚未満	157	135 86.0%	21 13.4%	1 0.6%
1500～2000枚未満	94	81 86.2%	9 9.6%	4 4.3%
2000枚以上	150	134 89.3%	13 8.7%	3 2.0%
無回答	7	-	-	7 100.0%

図表 18 後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がある処方せん取り扱い経験
(薬剤師 1 人当たり取り扱い処方せん枚数別)

	合計	1枚以上あり	なし	無回答
合計	635	549 86.5%	66 10.4%	20 3.1%
300枚未満	66	63 95.5%	2 3.0%	1 1.5%
300～500枚未満	141	123 87.2%	12 8.5%	6 4.3%
500～1000枚未満	354	310 87.6%	39 11.0%	5 1.4%
1000枚以上	64	50 78.1%	13 20.3%	1 1.6%
無回答	10	3 30.0%	-	7 70.0%

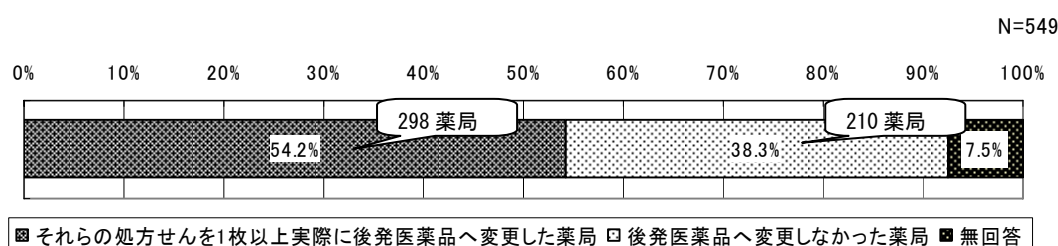
図表 19 後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がある処方せん取り扱い経験
(平成 18 年 10 月における後発医薬品備蓄品目数別)

	合計	1 枚 以上 あり	なし	無 回 答
合 計	635	549 86.5%	66 10.4%	20 3.1%
20品目未満	42	27 64.3%	14 33.3%	1 2.4%
20～50品目未満	155	127 81.9%	26 16.8%	2 1.3%
50～100品目未満	181	164 90.6%	13 7.2%	4 2.2%
100品目以上	201	188 93.5%	8 4.0%	5 2.5%
無回答	56	43 76.8%	5 8.9%	8 14.3%

このうち、「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんの取り扱いが1枚以上あった549薬局のうち、それらの処方せんを1枚以上実際に後発医薬品へ変更した薬局は54.2%（298薬局）、1枚も後発医薬品へ変更しなかった薬局は38.3%（210薬局）となっている。

また、薬剤師数別にみると、薬剤師数が多いほど変更した割合が高い傾向が見られる。

図表 20 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局（549薬局）のうち、実際に後発医薬品に変更した薬局数の割合



図表 21 後発医薬品への変更状況（主な処方せん発行医療機関別）

	合計	変更した	変更しなかった	無回答
合計	549	298 54.3%	210 38.3%	41 7.5%
病院	184	112 60.9%	59 32.1%	13 7.1%
診療所	361	185 51.2%	149 41.3%	27 7.5%
無回答	4	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%

図表 22 後発医薬品への変更状況（薬剤師数別）

	合計	変更した	変更しなかった	無回答
合計	549	298 54.3%	210 38.3%	41 7.5%
1～2人未満	135	56 41.5%	67 49.6%	12 8.9%
2～3人未満	218	126 57.8%	79 36.2%	13 6.0%
3人以上	193	114 59.1%	63 32.6%	16 8.3%
無回答	3	2 66.7%	1 33.3%	-

さらに、薬局の取り扱い処方せん枚数別には目立った傾向はみられないが、薬剤師 1 人当たり取り扱い処方せん枚数が増えるほど、実際の後発医薬品への変更割合（薬局ベース）は減少している。

図表 23 後発医薬品への変更状況（取り扱い処方せん枚数別）

	合計	変更した	変更しなかった	無回答
合計	549	298 54.3%	210 38.3%	41 7.5%
500枚未満	59	32 54.2%	21 35.6%	6 10.2%
500～1000枚未満	140	72 51.4%	61 43.6%	7 5.0%
1000～1500枚未満	135	73 54.1%	52 38.5%	10 7.4%
1500～2000枚未満	81	44 54.3%	31 38.3%	6 7.4%
2000枚以上	134	77 57.5%	45 33.6%	12 9.0%
無回答	-	-	-	-

図表 24 後発医薬品への変更状況（薬剤師 1 人当たり取り扱い処方せん枚数）

	合計	変更した	変更しなかった	無回答
合計	549	298 54.3%	210 38.3%	41 7.5%
300枚未満	63	40 63.5%	19 30.2%	4 6.3%
300～500枚未満	123	69 56.1%	42 34.1%	12 9.8%
500～1000枚未満	310	167 53.9%	122 39.4%	21 6.8%
1000枚以上	50	20 40.0%	26 52.0%	4 8.0%
無回答	3	2 66.7%	1 33.3%	-

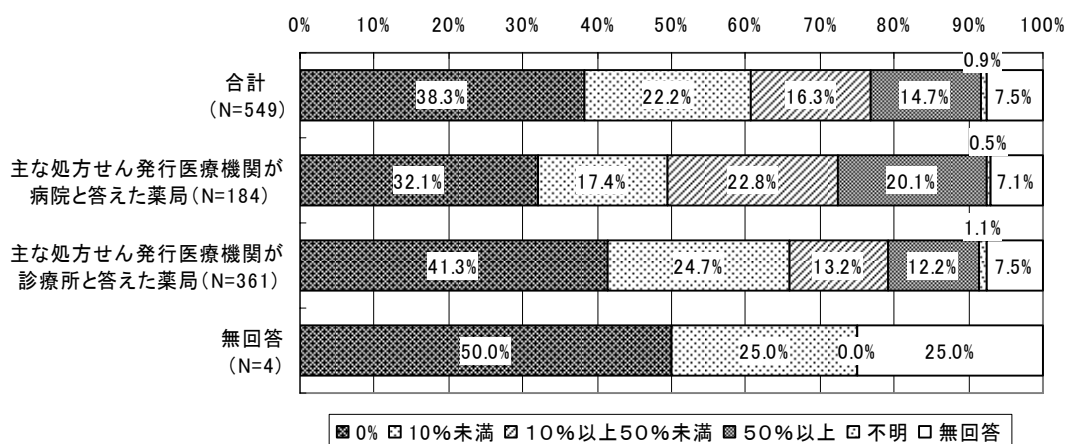
図表 25 後発医薬品への変更状況（平成 18 年 10 月における後発医薬品備蓄品目数別）

	合計	変更した	変更しなかった	無回答
合計	549	298 54.3%	210 38.3%	41 7.5%
20品目未満	27	15 55.6%	10 37.0%	2 7.4%
20～50品目未満	127	59 46.5%	59 46.5%	9 7.1%
50～100品目未満	164	88 53.7%	65 39.6%	11 6.7%
100品目以上	188	116 61.7%	62 33.0%	10 5.3%
無回答	43	20 46.5%	14 32.6%	9 20.9%

また、主な処方せん発行医療機関（病院・診療所）別に、後発医薬品への変更状況についてみると、それらの処方せんを 1 枚も後発医薬品へ変更しなかった薬局（後発医薬品への変更割合が 0%）は、主な処方せん発行医療機関が病院の薬局では 32.1%、診療所の薬局では 41.3%であり、主な処方せん発行医療機関が診療所の保険薬局の方が、後発医薬品へ一枚も変更しなかった薬局の割合が高い。

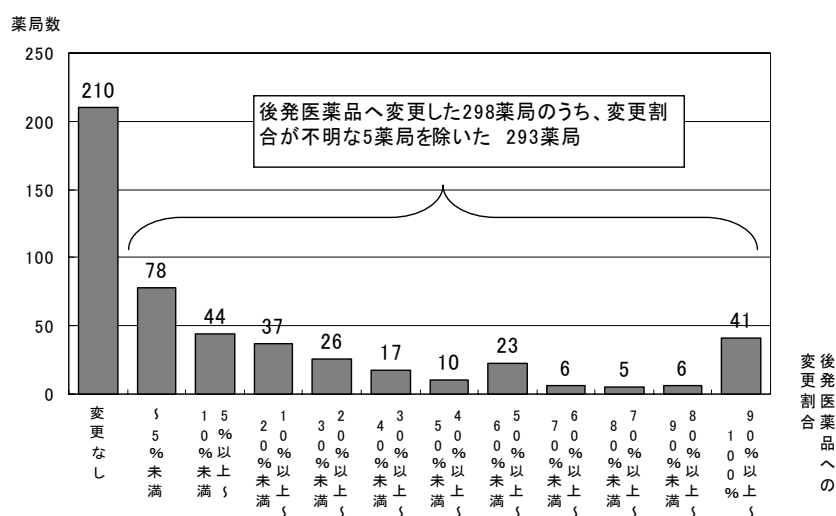
また、1 枚以上実際に後発医薬品へ変更した薬局における、後発医薬品への変更割合についてみると、全体的に病院の方が高くなっている。

図表 26 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局（549 薬局）のうち、実際に後発医薬品に変更した割合（主な処方せん発行医療機関別）



「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局において、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、実際に後発医薬品に変更した処方せんの割合についてみると、変更の割合が5%未満である薬局が78薬局ある一方、変更の割合が90%以上の薬局は41薬局あり、薬局ごとにばらつきが見られる。

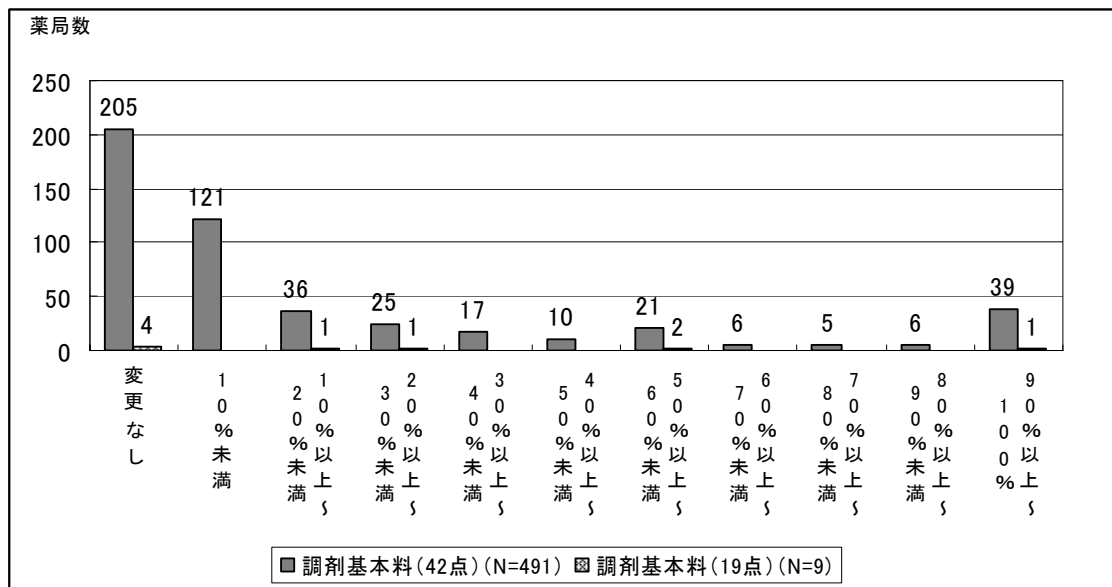
図表 27 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局のうち、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布



※ Nは、「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局数（549）から、変更割合が無回答の薬局（41）、および変更割合不明（5）を除いた503薬局。

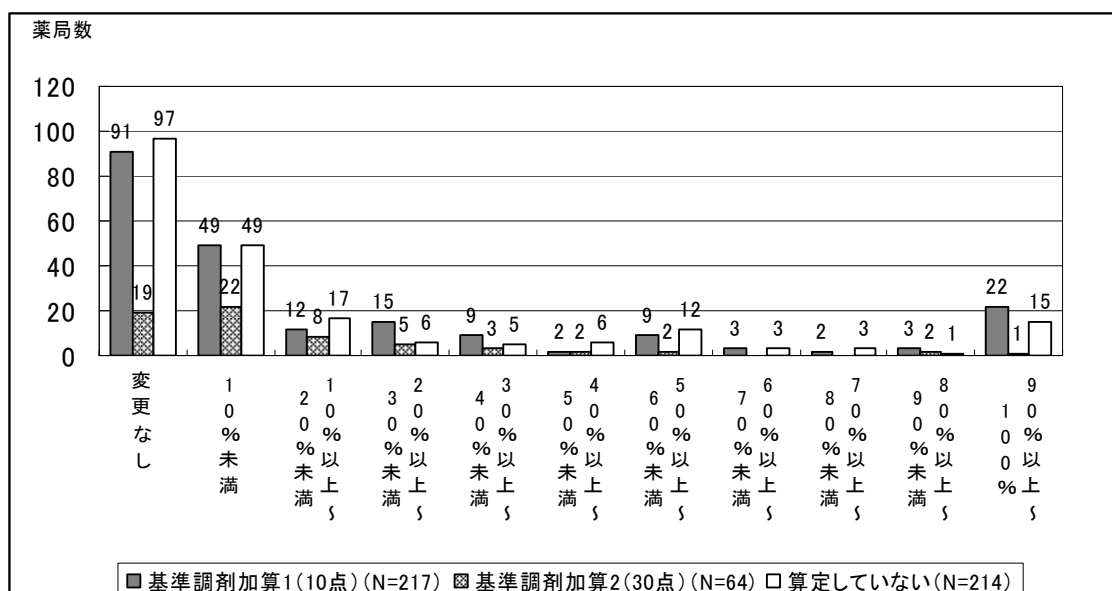
以下、調剤基本料別、基準調剤加算別、主な処方せん発行医療機関別の度数分布表を示す。

図表 28 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局のうち、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布（調剤基本料別）



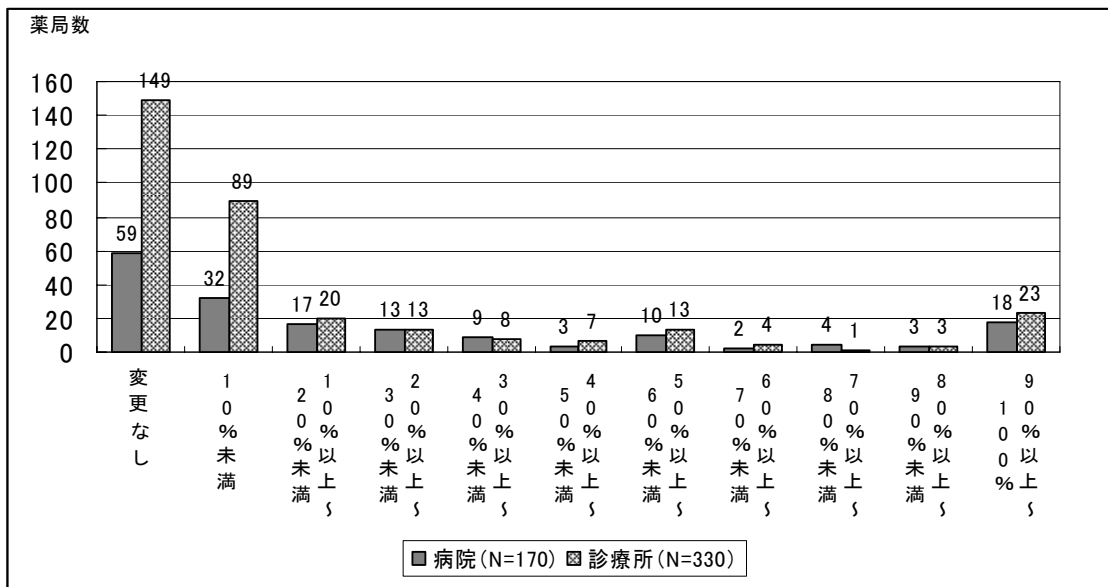
※変更割合不明、無回答は除く

図表 29 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局のうち、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布（基準調剤加算別）



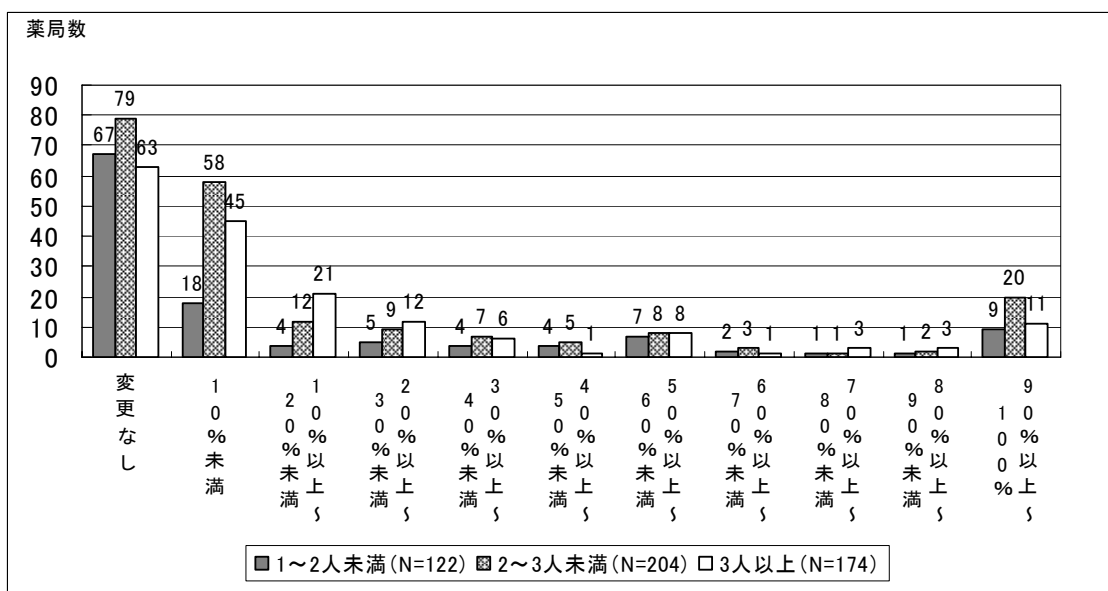
※変更割合不明、無回答は除く

図表 30 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局のうち、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布（主な処方せん発行医療機関別）



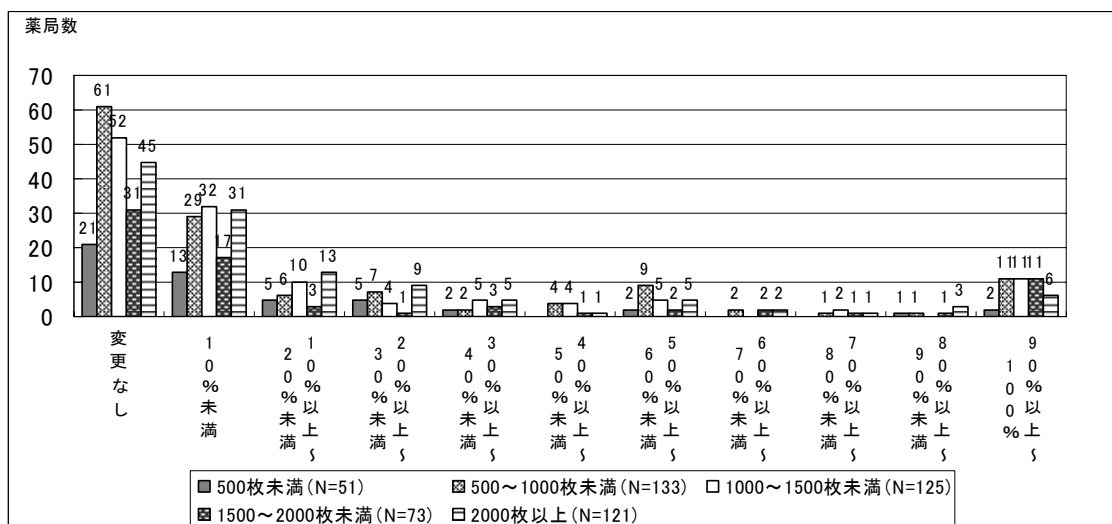
※変更割合不明、無回答は除く

図表 31 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局のうち、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布（薬剤師数別）



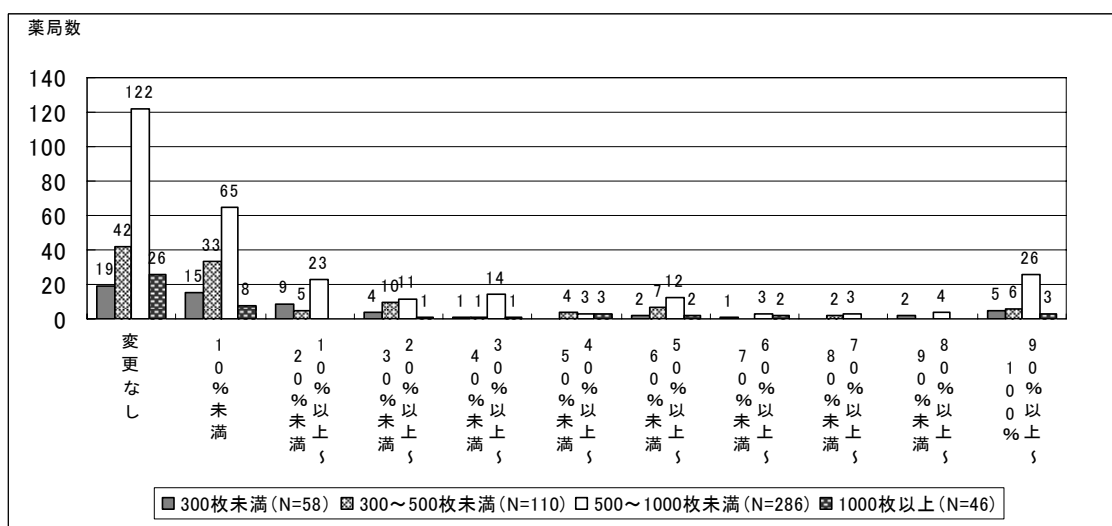
※変更割合不明、無回答は除く

図表 32 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局のうち、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布（取り扱い処方せん枚数別）



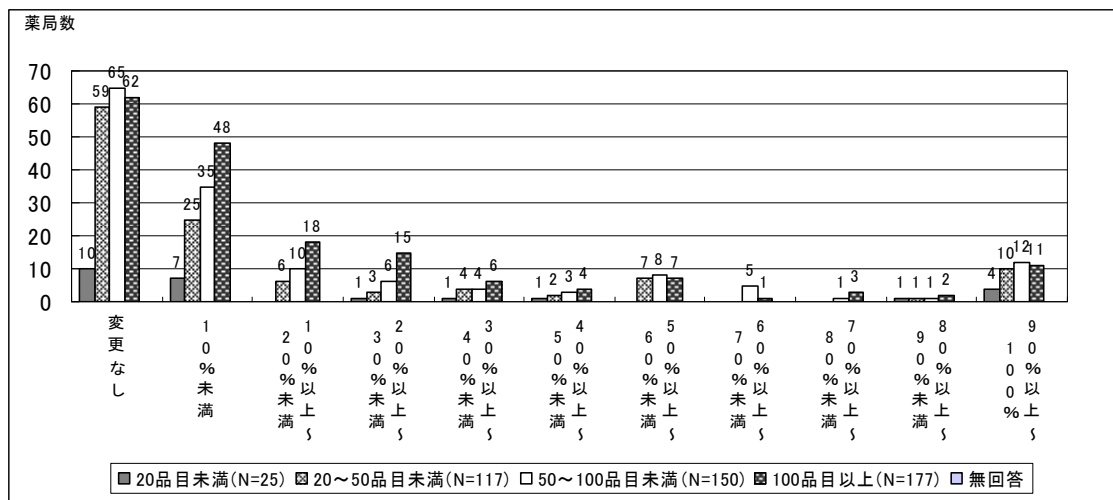
※変更割合不明、無回答は除く

図表 33 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局のうち、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布（薬剤師 1 人当たり取り扱い処方せん枚数別）



※変更割合不明、無回答は除く

図表 34 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局のうち、後発医薬品へ変更可の処方せん（後発医薬品が存在するもの）に占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布（平成 18 年 10 月における後発医薬品備蓄数別）



※変更割合不明、無回答は除く

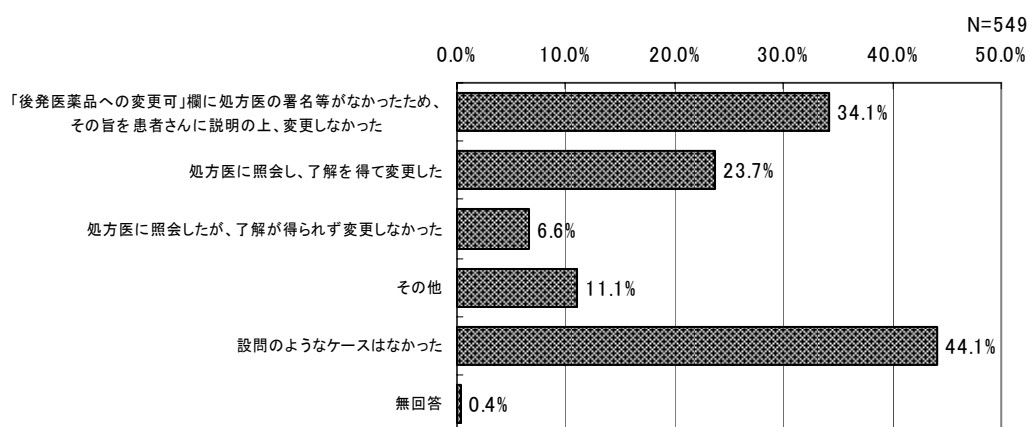
(4) 後発医薬品への対応の状況（平成 18 年 10 月）

平成 18 年 10 月 1 ヶ月全体で、「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを 1 枚以上取り扱った経験のある 549 薬局における、後発医薬品への対応状況を調査した。

1) 患者が後発医薬品への変更を希望したが、処方せんの「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がなかった場合の対応

「設問のようなケースはなかった」（44.1%）が最も多く、次いで「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がなかったため、その旨を患者さんに説明の上、変更しなかった」（34.1%）、「処方医に照会し、了解を得て変更した」（23.7%）となっている。

図表 35 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がなかった場合の対応（複数回答）



図表 36 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がなかった場合の対応（複数回答：主な処方せん発行医療機関別）

	合計	か明旨か医変→ つのをつの更後 た上患た署可発 、者た名ー医 変さめ等欄薬 更ん、がに品 しにそな処へ な説の方	た了処 解方 を医 得に て照 変会 更し し、	ずが処 変、方 、方 更了医 し解に なが照 か得会 つらし れた	そ 他	ス設 は問 な の か よ う な ケ ー ス	無 回 答
合 計	549	187 34.1%	130 23.7%	36 6.6%	61 11.1%	242 44.1%	2 0.4%
病院	184	76 41.3%	44 23.9%	11 6.0%	20 10.9%	78 42.4%	-
診療所	361	110 30.5%	85 23.5%	25 6.9%	40 11.1%	163 45.2%	2 0.6%
無回答	4	1 25.0%	1 25.0%	-	1 25.0%	1 25.0%	-

これを薬剤師数別、平成 18 年 10 月における取り扱い処方せん枚数別にみると、薬剤師数が多いほど、また、取り扱い処方せん枚数が多いほど、「設問のようなケース（患者が後発医薬品への変更を希望したが、処方せんの後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がなかった場合）はなかった」との回答が少なくなっていた。

図表 37 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がなかった場合の対応
(複数回答：薬剤師数別)

	合計	か明旨か医変→ つのをっの更後 た上患た署可発 、者た名ー医 変さめ等欄薬 更ん、がに品 しにそな処へ な説の方	た了処 解方 を医 得に て照 変会 更し、	ずが処 変、方 更了医 し解に なが照 か得会 つらし たれた	そ 他	ス設 は問 なよ かっ たな ケ ー	無 回 答
合 計	549	187 34.1%	130 23.7%	36 6.6%	61 11.1%	242 44.1%	2 0.4%
1～2人未満	135	41 30.4%	16 11.9%	3 2.2%	12 8.9%	79 58.5%	-
2～3人未満	218	71 32.6%	55 25.2%	14 6.4%	22 10.1%	96 44.0%	2 0.9%
3人以上	193	74 38.3%	59 30.6%	19 9.8%	27 14.0%	65 33.7%	-
無回答	3	1 33.3%	-	-	-	2 66.7%	-

図表 38 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がなかった場合の対応
(複数回答：取り扱い処方せん枚数別)

	合計	か明旨か医変→ つのをっの更後 た上患た署可発 、者た名ー医 変さめ等欄薬 更ん、がに品 しにそな処へ な説の方	た了処 解方 を医 得に て照 変会 更し、	ずが処 変、方 更了医 し解に なが照 か得会 つらし たれた	そ 他	ス設 は問 なよ かっ たな ケ ー	無 回 答
合 計	549	187 34.1%	130 23.7%	36 6.6%	61 11.1%	242 44.1%	2 0.4%
500枚未満	59	21 35.6%	8 13.6%	2 3.4%	1 1.7%	33 55.9%	1 1.7%
500～1000枚未満	140	49 35.0%	24 17.1%	7 5.0%	13 9.3%	73 52.1%	-
1000～1500枚未満	135	35 25.9%	36 26.7%	9 6.7%	17 12.6%	58 43.0%	1 0.7%
1500～2000枚未満	81	29 35.8%	22 27.2%	4 4.9%	12 14.8%	32 39.5%	-
2000枚以上	134	53 39.6%	40 29.9%	14 10.4%	18 13.4%	46 34.3%	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-

図表 39 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がなかった場合の対応
 (複数回答：薬剤師1人当たり取り扱い処方せん枚数別)

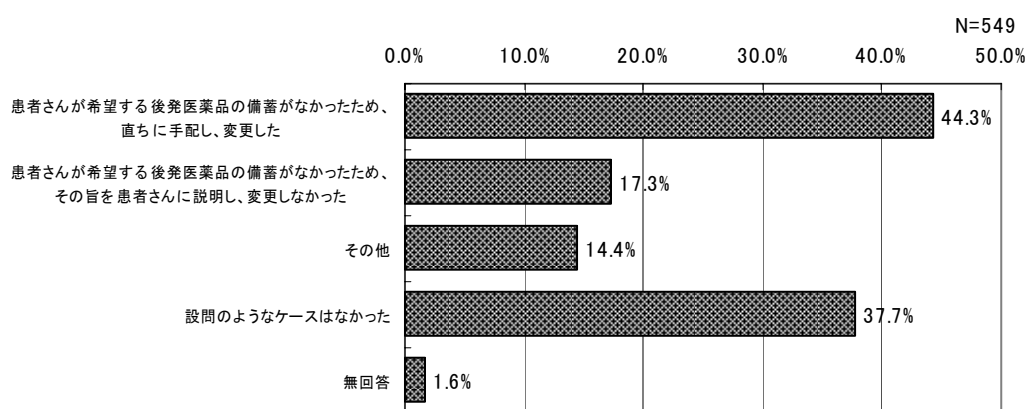
	合計	か 明 の 上 、 変 更 し な 説	明 の 患 者 、 さ め 、 更 ん に 説	旨 を た 、 等 、 が な 説	か 明 の 患 者 、 さ め 、 更 ん に 説	後 発 医 薬 品 へ の 変 更 可	一 名 、 等 、 が な 説	了 解 を 得 て 変 更 し 、	了 解 を 得 て 変 更 し 、	が 変 更 し な か つ た	処 方 医 に 照 会 し 、	処 方 医 に 照 会 し 、	そ の 他	設 問 の よ う な ケ ー ス	無 回 答
合計	549	187 34.1%	130 23.7%	36 6.6%	61 11.1%	242 44.1%	2 0.4%								
300枚未満	63	24 38.1%	12 19.0%	2 3.2%	4 6.3%	30 47.6%	1 1.6%								
300～500枚未満	123	45 36.6%	33 26.8%	10 8.1%	10 8.1%	51 41.5%	-								
500～1000枚未満	310	101 32.6%	75 24.2%	22 7.1%	39 12.6%	139 44.8%	1 0.3%								
1000枚以上	50	16 32.0%	10 20.0%	2 4.0%	8 16.0%	20 40.0%	-								
無回答	3	1 33.3%	-	-	-	2 66.7%	-								

2) 患者が後発医薬品への変更を希望したが、患者が希望する後発医薬品の備蓄がなかった場合の対応

(ア) 患者が希望する後発医薬品の備蓄がなかった場合の対応

「患者さんが希望する後発医薬品の備蓄がなかったため、直ちに手配し、変更した」(44.3%) が最も多く、次いで「設問のようなケースはなかった」(37.7%)、「患者さんが希望する後発医薬品の備蓄がなかったため、その旨を患者さんに説明し、変更しなかった」(17.3%) となっている。

図表 40 後発医薬品の備蓄がなかった場合の対応（複数回答）



図表 41 後発医薬品の備蓄がなかった場合の対応

(複数回答：主な処方せん発行医療機関別)

	合計	更さめ蓄る患 し、が後者 な、が後者 か、が後者 つ、が後者 明、が後者 た、が後者 し、が後者 、患者の望 変者 備す	しめ蓄る患 、が後者 変直な発さ 更ちか医ん しにつ薬が た手た品希 配たの望 備す	そ の 他	ス設 は問 な の か よ う な ケ ー ス	無 回 答
合 計	549	95 17.3%	243 44.3%	79 14.4%	207 37.7%	9 1.6%
病院	184	37 20.1%	90 48.9%	26 14.1%	58 31.5%	2 1.1%
診療所	361	56 15.5%	153 42.4%	53 14.7%	147 40.7%	7 1.9%
無回答	4	2 50.0%	-	-	2 50.0%	-

これを薬剤師数別、平成 18 年 10 月における取り扱い処方せん枚数別にみると、薬剤師数が多いほど、また、取り扱い処方せん枚数が多いほど、「設問のようなケース（患者が後発医薬品への変更を希望したが、患者が希望する後発医薬品の備蓄がなかった場合）はなかった」との回答が少なくなっていた。

図表 42 後発医薬品の備蓄がなかった場合の対応

(複数回答：薬剤師数別)

	合計	更さめ蓄る患者 しん、が後者 なにか説のか つ明旨つ薬が たしをた品希 、患者の望 変者 備す	しめ蓄る患者 、、が後者 変直な発さ 更ちか医ん しにつ薬が た手た品希 配たの望 備す	その他	ス設 は問 な か よ う な ケ ー ス	無 回 答
合計	549	95 17.3%	243 44.3%	79 14.4%	207 37.7%	9 1.6%
1～2人未満	135	19 14.1%	40 29.6%	16 11.9%	73 54.1%	1 0.7%
2～3人未満	218	35 16.1%	92 42.2%	28 12.8%	88 40.4%	4 1.8%
3人以上	193	41 21.2%	110 57.0%	34 17.6%	45 23.3%	4 2.1%
無回答	3	-	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	-

図表 43 後発医薬品の備蓄がなかった場合の対応

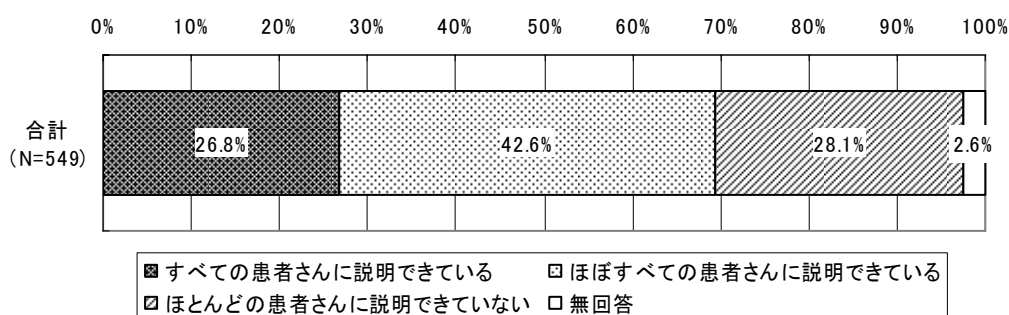
(複数回答：取り扱い処方せん枚数別)

	合計	更さめ蓄る患者 しん、が後者 なにか説のか つ明旨つ薬が たしをた品希 、患者の望 変者 備す	しめ蓄る患者 、、が後者 変直な発さ 更ちか医ん しにつ薬が た手た品希 配たの望 備す	その他	ス設 は問 な か よ う な ケ ー ス	無 回 答
合計	549	95 17.3%	243 44.3%	79 14.4%	207 37.7%	9 1.6%
500枚未満	59	7 11.9%	26 44.1%	4 6.8%	29 49.2%	1 1.7%
500～1000枚未満	140	22 15.7%	49 35.0%	20 14.3%	66 47.1%	1 0.7%
1000～1500枚未満	135	19 14.1%	57 42.2%	14 10.4%	57 42.2%	2 1.5%
1500～2000枚未満	81	15 18.5%	42 51.9%	16 19.8%	19 23.5%	1 1.2%
2000枚以上	134	32 23.9%	69 51.5%	25 18.7%	36 26.9%	4 3.0%
無回答	-	-	-	-	-	-

3) 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを持参した患者に対する、後発医薬品への変更に関する説明

後発医薬品への変更に関する説明については、「すべての患者さんに説明できている」(26.8%)、「ほぼすべての患者さんに説明できている」(42.6%)をあわせると、約7割の薬局で説明できているとの回答であった。「ほとんどの患者さんに説明できていない」は28.1%であった。

図表 46 後発医薬品への変更に関する説明



これを主な処方せん発行医療機関別にみると、主な処方せん発行医療機関が「病院」の薬局の方が、主な処方せん発行医療機関が「診療所」の薬局よりも、患者に対して説明できているとの回答が多い傾向にあった。

図表 47 後発医薬品への変更に関する説明

(複数回答：主な処方せん発行医療機関別)

	合計	いんす るにべ 説明 で患 き者 てさ	き者ほ てさほ いんす るにべ 説明 で患	てさほ いんす るにべ 説明 で患	無回 答
合計	549	147 26.8%	234 42.6%	154 28.1%	14 2.6%
病院	184	59 32.1%	82 44.6%	41 22.3%	2 1.1%
診療所	361	88 24.4%	150 41.6%	111 30.7%	12 3.3%
無回答	4	-	2 50.0%	2 50.0%	-

これを薬剤師数別にみると、薬剤師数が多い薬局ほど、患者に対して説明できているとの回答が多い傾向にあった。

一方、薬剤師1人当たりの取り扱い処方せん枚数別にみると、1人当たり取り扱い処方せん枚数が多い薬局の方が、患者に対して説明できていないとの回答が多い傾向が見られている。

図表 48 後発医薬品への変更に関する説明
(複数回答：薬剤師数別)

	合計	いんす るに べて 説明 でき てさ	き者ほ てさぼ いんす るに べて 説明 でき て患	てさほ いん なに 説明 でき て患	無 回 答
合 計	549	147 26.8%	234 42.6%	154 28.1%	14 2.6%
1～2人未満	135	27 20.0%	61 45.2%	44 32.6%	3 2.2%
2～3人未満	218	62 28.4%	87 39.9%	62 28.4%	7 3.2%
3人以上	193	57 29.5%	86 44.6%	46 23.8%	4 2.1%
無回答	3	1 33.3%	-	2 66.7%	-

図表 49 後発医薬品への変更に関する説明
(複数回答：取り扱い処方せん枚数別)

	合計	いんす るに べて 説明 でき てさ	き者ほ てさぼ いんす るに べて 説明 でき て患	てさほ いん なに 説明 でき て患	無 回 答
合 計	549	147 26.8%	234 42.6%	154 28.1%	14 2.6%
500枚未満	59	12 20.3%	29 49.2%	16 27.1%	2 3.4%
500～1000枚未満	140	38 27.1%	60 42.9%	40 28.6%	2 1.4%
1000～1500枚未満	135	38 28.1%	49 36.3%	45 33.3%	3 2.2%
1500～2000枚未満	81	26 32.1%	35 43.2%	17 21.0%	3 3.7%
2000枚以上	134	33 24.6%	61 45.5%	36 26.9%	4 3.0%
無回答	-	-	-	-	-

図表 50 後発医薬品への変更に関する説明
 (複数回答：薬剤師1人当たり取り扱い処方せん枚数別)

	合計	い る に 説 明 で き て	す べ て の 患 者 さ き 者 ほ い ん す に べ て 説 明 で き る	さ ぼ い ん す に べ て 説 明 で き る	ほ い ん す に べ て 説 明 で き る	と ん ど の 患 者 さ き 者 ほ い ん す に べ て 説 明 で き る	無 回 答
合 計	549	147 26.8%	234 42.6%	154 28.1%	14 2.6%		
300枚未満	63	20 31.7%	27 42.9%	14 22.2%	2 3.2%		
300～500枚未満	123	30 24.4%	55 44.7%	35 28.5%	3 2.4%		
500～1000枚未満	310	86 27.7%	133 42.9%	84 27.1%	7 2.3%		
1000枚以上	50	10 20.0%	19 38.0%	19 38.0%	2 4.0%		
無回答	3	1 33.3%	-	2 66.7%	-		

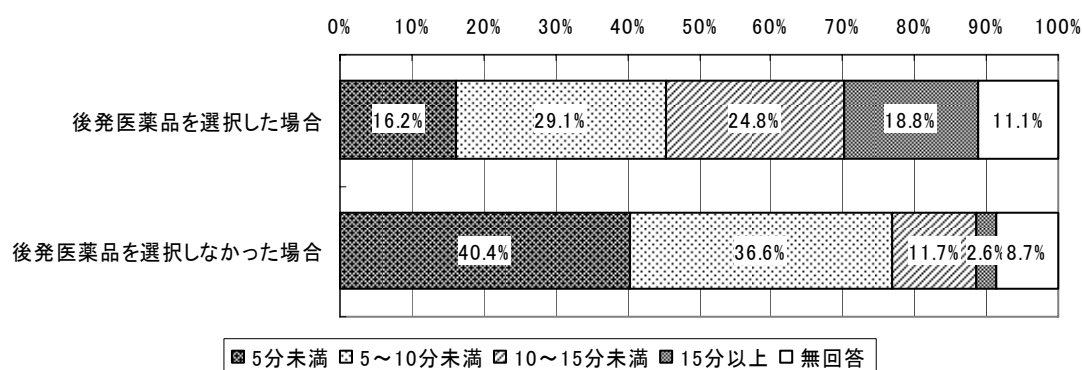
4) 患者一人あたりの平均説明時間

患者1人あたりの平均説明時間についてみると、患者が後発医薬品を選択した場合は「5～10分未満」(29.1%)が最も多く、次いで「10～15分未満」(24.8%)となっている。

一方、患者が後発医薬品を選択しなかった場合には「5分未満」(40.4%)が最も多く、次いで「5～10分未満」(36.6%)となっている。

図表 51 患者1人あたりの平均説明時間

N=549



なお、患者が後発医薬品を選択した場合の説明時間の平均は9.20分、選択しなかった場合の説明時間の平均は4.86分であった。

図表 52 患者1人あたりの平均説明時間

	平均値 (分)	標準偏差	中央値
後発医薬品を選択した場合	9.20	6.71	8.0
後発医薬品を選択しなかった場合	4.86	3.48	5.0

以下に、患者1人当たりの平均説明時間に関する、主な処方せん発行医療機関別、薬剤師数別、平成18年10月における取り扱い処方せん枚数別、薬剤師1人当たり処方せん枚数別の状況を示す。

図表 53 患者 1 人当たりの平均説明時間（主な処方せん発行医療機関別）

（上・患者が後発医薬品を選択した場合、下・選択しなかった場合）

患者が後発医薬品を選択した場合	合計	5分未満	5分未満10	10分未満	15分以上	無回答
合計	549	89 16.2%	160 29.1%	136 24.8%	103 18.8%	61 11.1%
病院	184	33 17.9%	59 32.1%	43 23.4%	28 15.2%	21 11.4%
診療所	361	54 15.0%	100 27.7%	92 25.5%	75 20.8%	40 11.1%
無回答	4	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	-	-

患者が後発医薬品を選択しなかった場合	合計	5分未満	5分未満10	10分未満	15分以上	無回答
合計	549	222 40.4%	201 36.6%	64 11.7%	14 2.6%	48 8.7%
病院	184	84 45.7%	58 31.5%	18 9.8%	5 2.7%	19 10.3%
診療所	361	135 37.4%	143 39.6%	45 12.5%	9 2.5%	29 8.0%
無回答	4	3 75.0%	-	1 25.0%	-	-

図表 54 患者 1 人当たりの平均説明時間（薬剤師数別）

（上・患者が後発医薬品を選択した場合、下・選択しなかった場合）

患者が後発医薬品を選択した場合	合計	5分未満	5分未満10	10分未満	15分以上	無回答
合計	549	89 16.2%	160 29.1%	136 24.8%	103 18.8%	61 11.1%
1～2人未満	135	24 17.8%	43 31.9%	32 23.7%	16 11.9%	20 14.8%
2～3人未満	218	31 14.2%	69 31.7%	55 25.2%	39 17.9%	24 11.0%
3人以上	193	34 17.6%	47 24.4%	48 24.9%	48 24.9%	16 8.3%
無回答	3	-	1 33.3%	1 33.3%	-	1 33.3%

患者が後発医薬品を選択しなかった場合	合計	5分未満	5分未満10	10分未満	15分以上	無回答
合計	549	222 40.4%	201 36.6%	64 11.7%	14 2.6%	48 8.7%
1～2人未満	135	65 48.1%	41 30.4%	14 10.4%	3 2.2%	12 8.9%
2～3人未満	218	84 38.5%	87 39.9%	24 11.0%	4 1.8%	19 8.7%
3人以上	193	73 37.8%	71 36.8%	26 13.5%	7 3.6%	16 8.3%
無回答	3	-	2 66.7%	-	-	1 33.3%

図表 55 患者 1 人当たりの平均説明時間（取り扱い処方せん枚数別）
（上・患者が後発医薬品を選択した場合、下・選択しなかった場合）

患者が後発医薬品を選択した場合	合計	5分未満	5分未満10	10分未満	15分以上	無回答
合計	549	89 16.2%	160 29.1%	136 24.8%	103 18.8%	61 11.1%
500枚未満	59	6 10.2%	15 25.4%	15 25.4%	8 13.6%	15 25.4%
500～1000枚未満	140	22 15.7%	44 31.4%	31 22.1%	29 20.7%	14 10.0%
1000～1500枚未満	135	21 15.6%	38 28.1%	40 29.6%	23 17.0%	13 9.6%
1500～2000枚未満	81	17 21.0%	25 30.9%	18 22.2%	12 14.8%	9 11.1%
2000枚以上	134	23 17.2%	38 28.4%	32 23.9%	31 23.1%	10 7.5%
無回答	-	-	-	-	-	-

患者が後発医薬品を選択しなかった場合	合計	5分未満	5分未満10	10分未満	15分以上	無回答
合計	549	222 40.4%	201 36.6%	64 11.7%	14 2.6%	48 8.7%
500枚未満	59	20 33.9%	22 37.3%	5 8.5%	1 1.7%	11 18.6%
500～1000枚未満	140	60 42.9%	47 33.6%	15 10.7%	5 3.6%	13 9.3%
1000～1500枚未満	135	54 40.0%	51 37.8%	21 15.6%	2 1.5%	7 5.2%
1500～2000枚未満	81	38 46.9%	27 33.3%	8 9.9%	2 2.5%	6 7.4%
2000枚以上	134	50 37.3%	54 40.3%	15 11.2%	4 3.0%	11 8.2%
無回答	-	-	-	-	-	-

図表 56 患者 1 人当たりの平均説明時間（薬剤師 1 人当たり取り扱い処方せん枚数別）
 （上・患者が後発医薬品を選択した場合、下・選択しなかった場合）

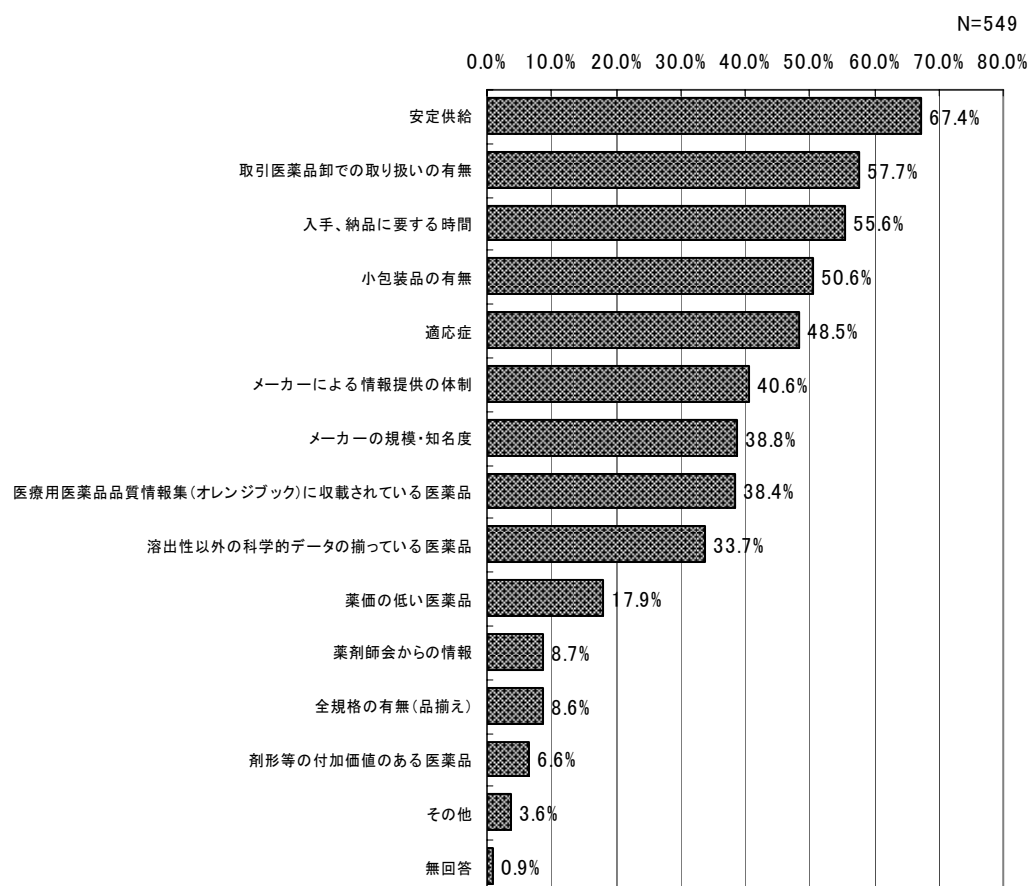
患者が後発医薬品を選択した場合	合計	5分未満	5分未満10	10分未満15	15分以上	無回答
合計	549	89 16.2%	160 29.1%	136 24.8%	103 18.8%	61 11.1%
300枚未満	63	3 4.8%	17 27.0%	17 27.0%	14 22.2%	12 19.0%
300～500枚未満	123	19 15.4%	40 32.5%	28 22.8%	21 17.1%	15 12.2%
500～1000枚未満	310	59 19.0%	81 26.1%	81 26.1%	62 20.0%	27 8.7%
1000枚以上	50	8 16.0%	21 42.0%	9 18.0%	6 12.0%	6 12.0%
無回答	3	-	1 33.3%	1 33.3%	-	1 33.3%

患者が後発医薬品を選択しなかった場合	合計	5分未満	5分未満10	10分未満15	15分以上	無回答
合計	549	222 40.4%	201 36.6%	64 11.7%	14 2.6%	48 8.7%
300枚未満	63	21 33.3%	25 39.7%	6 9.5%	2 3.2%	9 14.3%
300～500枚未満	123	48 39.0%	46 37.4%	13 10.6%	4 3.3%	12 9.8%
500～1000枚未満	310	129 41.6%	110 35.5%	42 13.5%	7 2.3%	22 7.1%
1000枚以上	50	24 48.0%	18 36.0%	3 6.0%	1 2.0%	4 8.0%
無回答	3	-	2 66.7%	-	-	1 33.3%

5) 後発医薬品を採用する際に重視している事項

薬局全体では、「安定供給」(67.4%)が最も多く、次いで「取引医薬品卸での取り扱いの有無」(57.7%)、「入手、納品に要する時間」(55.6%)となっている。

図表 57 後発医薬品を採用する際に重視している事項（複数回答）



※通称「オレンジブック」は医療用医薬品品質情報集を指す。

各薬局の後発医薬品への変更率（後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がある処方せんを実際に後発医薬品に変更した割合）別にみた、後発医薬品を採用する際に重視している事項は以下のとおりである。

図表 58 後発医薬品を採用する際に重視している事項
（複数回答：後発医薬品への変更率別）

	合計		変更なし		変更率 50%未満		変更率50～ 90%未満		変更率 90%以上		無回答	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
合計	549		210		212		40		46		41	
安定供給	370	(67.4)	134	(63.8)	145	(68.4)	30	(75.0)	33	(71.7)	28	(68.3)
取引医薬品卸での取り扱いの有無	317	(57.7)	113	(53.8)	129	(60.8)	22	(55.0)	29	(63.0)	24	(58.5)
入手、納品に要する時間	305	(55.6)	115	(54.8)	129	(60.8)	18	(45.0)	27	(58.7)	16	(39.0)
小包装品の有無	278	(50.6)	101	(48.1)	115	(54.2)	17	(42.5)	24	(52.2)	21	(51.2)
適応症	266	(48.5)	86	(41.0)	119	(56.1)	20	(50.0)	29	(63.0)	12	(29.3)
メーカーによる情報提供の体制	223	(40.6)	85	(40.5)	94	(44.3)	17	(42.5)	16	(34.8)	11	(26.8)
医療用医薬品品質情報集(オレンジブック)に記載されている医薬品	211	(38.4)	67	(31.9)	86	(40.6)	26	(65.0)	21	(45.7)	11	(26.8)
メーカーの規模・知名度	213	(38.8)	82	(39.0)	89	(42.0)	17	(42.5)	12	(26.1)	13	(31.7)
溶出性以外の科学的データの揃っている医薬品	185	(33.7)	74	(35.2)	73	(34.4)	13	(32.5)	16	(34.8)	9	(22.0)
薬価の低い医薬品	98	(17.9)	35	(16.7)	40	(18.9)	9	(22.5)	12	(26.1)	2	(4.9)
薬剤師会からの情報	48	(8.7)	20	(9.5)	18	(8.5)	6	(15.0)	2	(4.3)	2	(4.9)
全規格の有無(品揃え)	47	(8.6)	21	(10.0)	19	(9.0)	1	(2.5)	3	(6.5)	3	(7.3)
剤形等の付加価値のある医薬品	36	(6.6)	13	(6.2)	14	(6.6)	5	(12.5)	2	(4.3)	2	(4.9)
その他	20	(3.6)	13	(6.2)	7	(3.3)	-	-	-	-	-	-
無回答	5	(0.9)	3	(1.4)	1	(0.5)	-	-	-	-	1	(2.4)

※通称「オレンジブック」は医療用医薬品品質情報集を指す。

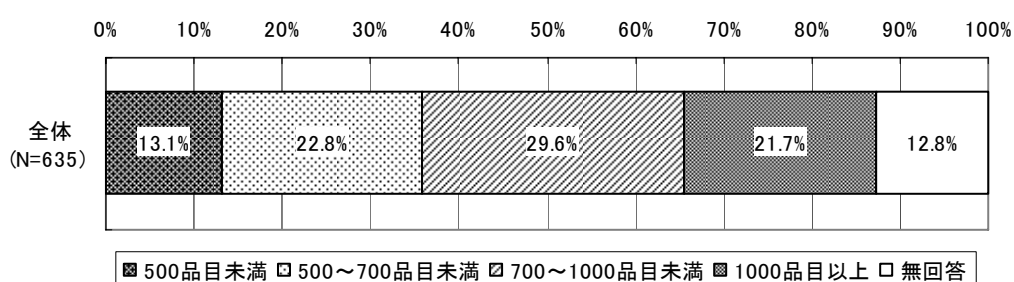
(5) 医薬品の備蓄状況（平成17年10月および平成18年10月）

医薬品の備蓄状況については、回答があった635保険薬局全数の状況を示す。

1) 平成17年10月の医薬品の備蓄状況（全品目）

平成17年10月の医薬品の備蓄状況（全品目）についてみると、「700～1000品目未満」（29.6%）が最も多く、次いで「500～700品目未満」（22.8%）となっている。

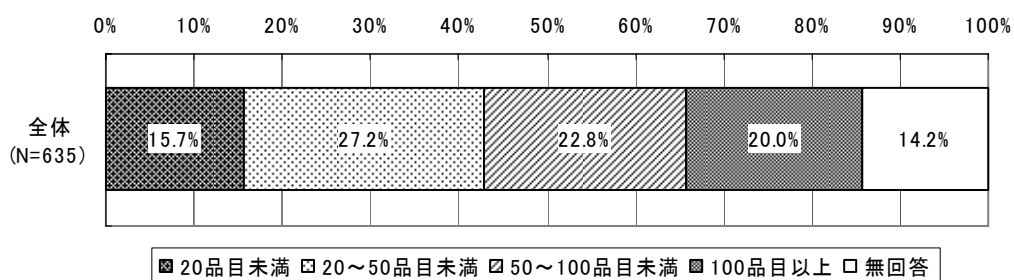
図表 59 平成17年10月の医薬品の備蓄状況（全品目）



2) 平成17年10月の医薬品の備蓄状況（うち後発医薬品）

平成17年10月の医薬品の備蓄状況（うち後発医薬品）についてみると、「20～50品目未満」（27.2%）が最も多く、次いで「50～100品目未満」（22.8%）となっている。

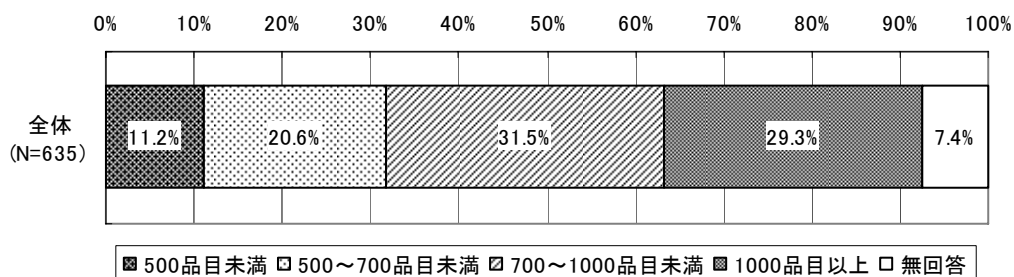
図表 60 平成17年10月の医薬品の備蓄状況（うち後発医薬品）



3) 平成18年10月の医薬品の備蓄状況（全品目）

平成18年10月の医薬品の備蓄状況（全品目）についてみると、「700～1000品目未満」（31.5%）が最も多く、次いで「1000品目以上」（29.3%）となっている。

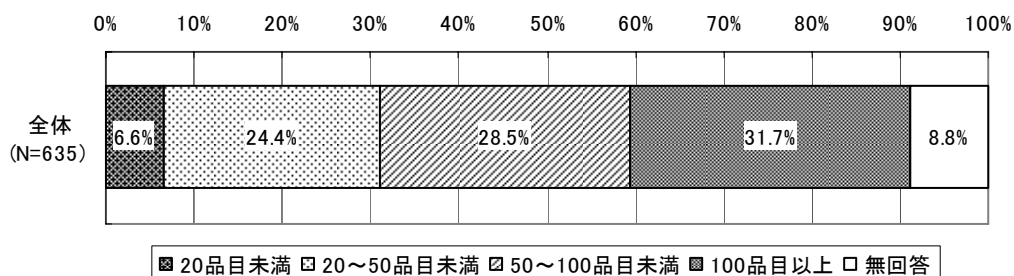
図表 61 平成18年10月の医薬品の備蓄状況（全品目）



4) 平成18年10月の医薬品の備蓄状況（うち後発医薬品）

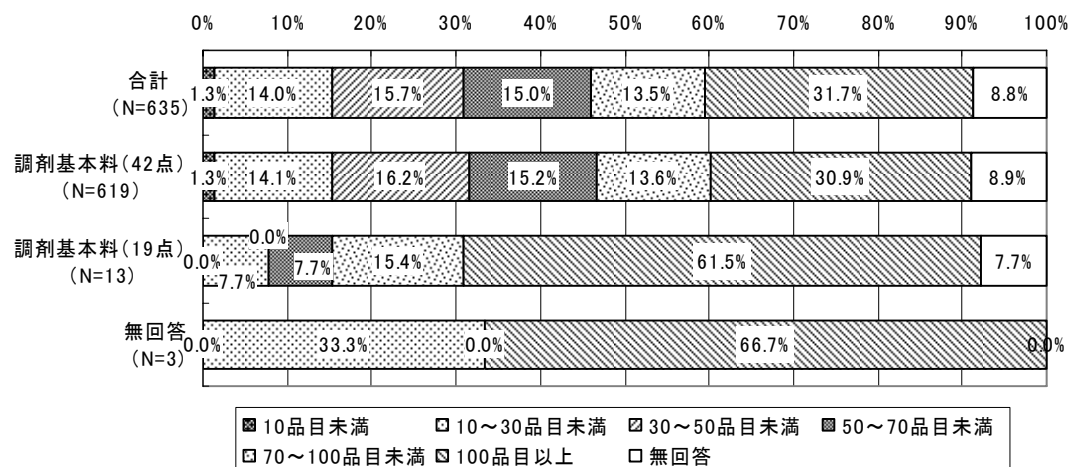
平成18年10月の医薬品の備蓄状況（うち後発医薬品）についてみると、「100品目以上」（31.7%）が最も多く、次いで「50～100品目未満」（28.5%）となっている。

図表 62 平成18年10月の医薬品の備蓄状況（うち後発医薬品）

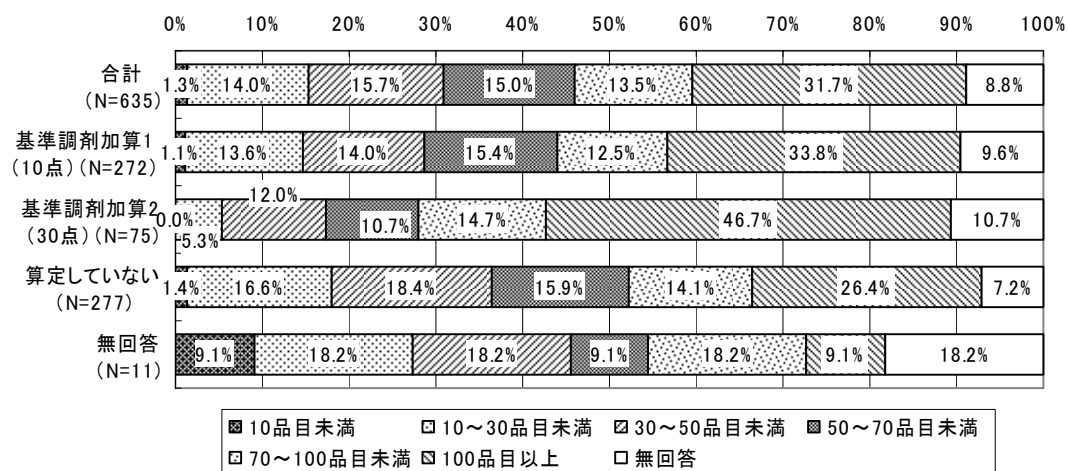


また、調剤基本料別、基準調剤加算別の後発医薬品の備蓄状況は以下のとおりであった。

図表 63 平成 18 年 10 月の医薬品の備蓄状況（うち後発医薬品）（調剤基本料別）



図表 64 平成 18 年 10 月の医薬品の備蓄状況（うち後発医薬品）（基準調剤加算別）



図表 65 平成 18 年 10 月の医薬品の備蓄状況（うち後発医薬品）
（主な処方せん発行医療機関別）

	合計	20品目未満	20品目～50品目未満	50品目～100品目未満	100品目以上	無回答
合計	635	42 6.6%	155 24.4%	181 28.5%	201 31.7%	56 8.8%
病院	208	9 4.3%	45 21.6%	55 26.4%	79 38.0%	20 9.6%
診療所	422	32 7.6%	109 25.8%	125 29.6%	122 28.9%	34 8.1%
無回答	5	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	-	2 40.0%

平成 18 年 10 月の医薬品の備蓄状況（うち後発医薬品）を薬剤師数別に見ると、薬剤師が多い保険薬局ほど、備蓄品目数が多い傾向が見られている。

図表 66 平成 18 年 10 月の医薬品の備蓄状況（うち後発医薬品）（薬剤師数別）

	合計	20品目未満	20品目～50品目未満	50品目～100品目未満	100品目以上	無回答
合計	635	42 6.6%	155 24.4%	181 28.5%	201 31.7%	56 8.8%
1～2人未満	170	18 10.6%	54 31.8%	48 28.2%	36 21.2%	14 8.2%
2～3人未満	245	16 6.5%	62 25.3%	69 28.2%	77 31.4%	21 8.6%
3人以上	217	8 3.7%	39 18.0%	63 29.0%	86 39.6%	21 9.7%
無回答	3	-	-	1 33.3%	2 66.7%	-

図表 67 平成 18 年 10 月の医薬品の備蓄状況（うち後発医薬品）
（取り扱い処方せん枚数別）

	合計	20品目未満	20品目～50品目未満	50品目～100品目未満	100品目以上	無回答
合計	635	42 6.6%	155 24.4%	181 28.5%	201 31.7%	56 8.8%
500枚未満	66	6 9.1%	22 33.3%	14 21.2%	17 25.8%	7 10.6%
500～1000枚未満	161	14 8.7%	46 28.6%	47 29.2%	44 27.3%	10 6.2%
1000～1500枚未満	157	9 5.7%	43 27.4%	47 29.9%	46 29.3%	12 7.6%
1500～2000枚未満	94	5 5.3%	23 24.5%	26 27.7%	29 30.9%	11 11.7%
2000枚以上	150	7 4.7%	20 13.3%	45 30.0%	64 42.7%	14 9.3%
無回答	7	1 14.3%	1 14.3%	2 28.6%	1 14.3%	2 28.6%

図表 68 平成 18 年 10 月の医薬品の備蓄状況（うち後発医薬品）
（薬剤師 1 人当たり取り扱い処方せん枚数別）

	合計	20品目未満	20品目～50品目	50品目～100品目	100品目以上	無回答
合計	635	42 6.6%	155 24.4%	181 28.5%	201 31.7%	56 8.8%
300枚未満	66	6 9.1%	17 25.8%	18 27.3%	21 31.8%	4 6.1%
300～500枚未満	141	5 3.5%	38 27.0%	41 29.1%	43 30.5%	14 9.9%
500～1000枚未満	354	22 6.2%	87 24.6%	95 26.8%	118 33.3%	32 9.0%
1000枚以上	64	8 12.5%	12 18.8%	24 37.5%	16 25.0%	4 6.3%
無回答	10	1 10.0%	1 10.0%	3 30.0%	3 30.0%	2 20.0%

図表 69 平成 18 年 10 月の医薬品の備蓄状況（うち後発医薬品）
（後発医薬品への変更率別）

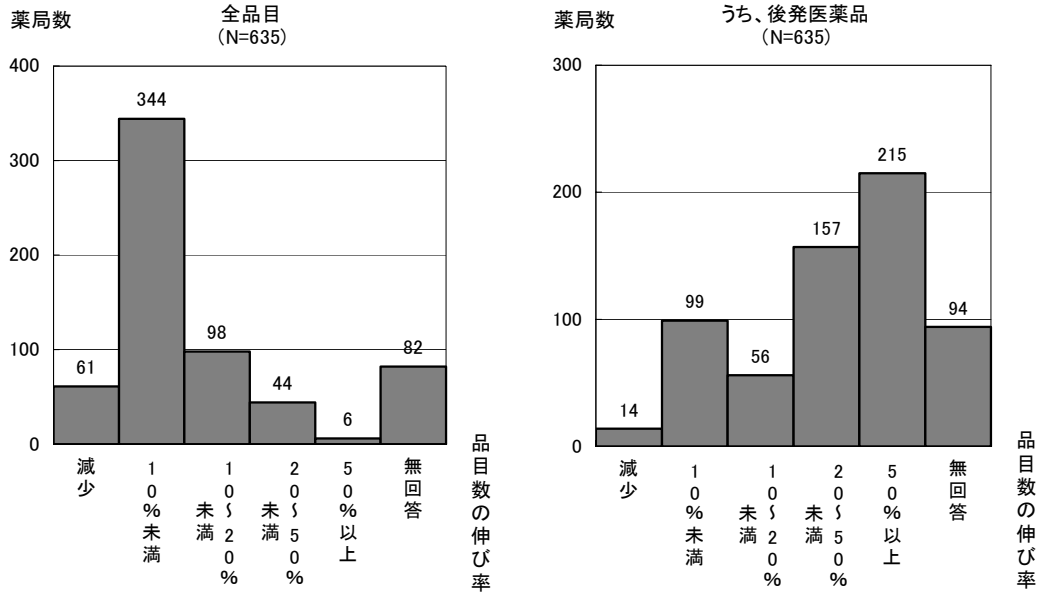
	合計	20品目未満	20品目～50品目	50品目～100品目	100品目以上	無回答
合計	635	42 6.6%	155 24.4%	181 28.5%	201 31.7%	56 8.8%
変更なし	211	10 4.7%	60 28.4%	65 30.8%	62 29.4%	14 6.6%
変更率50%未満	212	10 4.7%	40 18.9%	58 27.4%	91 42.9%	13 6.1%
変更率50～90%未満	40	1 2.5%	8 20.0%	15 37.5%	13 32.5%	3 7.5%
変更率90%以上	46	4 8.7%	11 23.9%	15 32.6%	12 26.1%	4 8.7%
無回答	126	17 13.5%	36 28.6%	28 22.2%	23 18.3%	22 17.5%

なお、平成 17 年 10 月と 18 年 10 月における、備蓄品目数の平均値および品目数の伸び率は以下のとおりとなっている。

図表 70 医薬品の備蓄状況

		平成 17 年 10 月	平成 18 年 10 月
医薬品全品目数	平均値	805.50	870.58
	中央値	750.00	800.00
うち、後発医薬品の品目数	平均値	70.19	97.64
	中央値	48.00	68.00

図表 71 備蓄品目数の平成 17 年 10 月から平成 18 年 10 月にかけての変化率
(品目数の伸び率)



また、平成 18 年 10 月における、全備蓄品目数に占める後発医薬品の品目数は、「10%～20%未満」(30.7%) が最も多くなっている。

図表 72 後発医薬品の全備蓄品目数に占める割合 (平成 18 年 10 月)

	合計	5%未満	5%～20%未満	20%～50%未満	50%以上	無回答
合計	635	130 20.5%	184 29.0%	195 30.7%	66 10.4%	60 9.4%

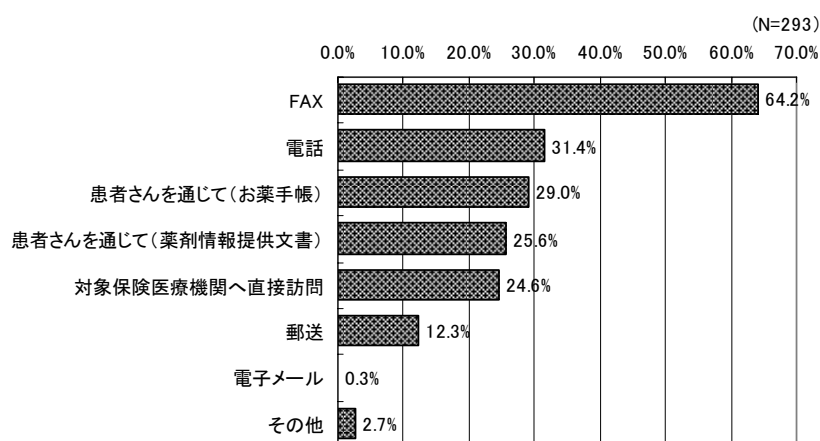
(6) 後発医薬品へ変更した場合の、保険医療機関への情報提供

「後発医薬品へ変更可」欄に、処方医の署名等がある処方せんを、1枚以上実際に後発医薬品へ変更した薬局（変更割合がわかっている薬局）293薬局における、後発医薬品へ変更した場合の保険医療機関への情報提供の状況について調査した。

1) 銘柄等情報の医療機関への情報提供の方法

薬局全体では、「FAX」（64.2%）が最も多く、次いで「電話」（31.4%）、「患者さんを通じて（お薬手帳）」（29.0%）となっている。

図表 73 銘柄等情報の医療機関への情報提供の方法（複数回答）



2) 銘柄等情報の医療機関への情報提供の頻度

薬局全体では、「毎日」（39.2%）が最も多く、次いで「次回受診時まで」（23.5%）となっている。

図表 74 銘柄等情報の医療機関への情報提供の頻度（複数回答）

